

令和2年2月13日

保健福祉局総務課（582-2403）

令和2年度予算案 保健福祉施策の充実

少子高齢化の進行や現役世代の減少など、市民生活を取り巻く社会環境は大きく変化しています。人生100年時代に対応した全世代型社会保障の構築が進められる中、本市においても、健康寿命の延伸等に向けた保健・医療・介護の充実などが求められています。

令和2年度は、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を推進するとともに、北九州市SDGs未来都市計画との関連性を踏まえながら、本市の地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める「北九州市地域福祉計画」や高齢社会対策を総合的に推進するための「北九州市いきいき長寿プラン」などの次期計画づくりに取り組めます。

また、市民の健康と安全を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、保健・衛生管理体制の取組などを着実に進めていきます。

I 令和2年度保健福祉局当初予算案 規模

(単位：千円)

	令和2年度 当初予算案	令和元年度 当初予算	対前年度 増減額
一般会計	161,910,196	157,875,622	4,034,574
国民健康保険 特別会計	101,326,000	99,786,000	1,540,000
介護保険 特別会計	106,316,000	100,497,000	5,819,000
後期高齢者医療 特別会計	16,656,000	16,690,000	▲ 34,000
食肉センター 特別会計	340,000	300,000	40,000
市立病院機構病院事業債管理 特別会計	3,568,200	3,170,400	397,800
病院事業（企業会計）	800,680	846,670	▲ 45,990
保健福祉局 総計	390,917,076	379,165,692	11,751,384

Ⅱ 重点的に取り組む主な事業と予算額

1 地域福祉・高齢者福祉の推進

(1) **継続** **介護ロボット等開発・導入実証事業** 73,500千円

少子高齢化の進展、介護人材の不足に対応するため、介護ロボット等の導入を踏まえた介護現場の働き方改革を進め、人とテクノロジーが融和した「北九州モデル」の普及・促進を図る。



(2) **拡充** **北九州市成年後見制度中核機関運営事業** 6,300千円

認知症高齢者や知的障害のある人など、成年後見制度の利用が必要な方の制度利用を促進し、地域連携ネットワークによる成年被後見人や成年後見人に対する支援、制度普及・啓発活動を強化するために、中核機関(北九州市成年後見支援センター)を運営する。



(3) **拡充** **新しい介護予防・健康づくり事業** 54,000千円

ふくおか健康づくり県民運動と連携し、幅広い年齢層を対象にしたケアランポリンやスロージョギング等による介護予防や健康づくりを実施する。

(4) **新規** **外国人介護人材育成支援事業** 5,000千円

外国人介護人材に対する介護技能や介護の日本語、日本文化への理解を深める研修を実施し、介護の質の向上を図るとともに、介護分野への外国人の就労・定着を促進する。

2 障害福祉の推進

- (1) **継続** **発達障害児早期支援システム研究事業** 2,000千円
発達障害の特性のある就学前の子どもへの早期支援を進めるため、園医健診、かかりつけ医健診、特性評価の三層構造による早期支援システムの構築に向けた研究事業を実施する。
- (2) **新規** **医療的ケア児在宅レスパイト事業** 9,000千円
在宅の医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減を図るため、訪問看護利用者の一部費用を助成する。



- (3) **新規** **地域生活支援拠点等整備事業** 6,400千円
障害のある人やその家族が地域で安心して生活できるよう、必要に応じて緊急的な対応を図る等の体制整備を行う。
- (4) **拡充** **障害児者日常生活用具給付等事業** 252,959千円
在宅の障害のある人等の新たなニーズ等を踏まえ、日常生活がより円滑に行われるための用具(日常生活用具)の追加や対象要件の拡大を行う。
- (5) **拡充** **ひきこもり地域支援センター事業** 16,184千円
当事者や親の高齢化(8050問題)等により複合化する課題に対応するため、ひきこもり地域支援センターの体制を強化するとともに、各区役所等関係機関との連携強化を図る。

4 保健・衛生管理体制の充実

(1) **拡充** **定期予防接種事業** 2,624,346千円

予防接種法に基づく定期予防接種として、令和2年10月から導入される「ロタウイルス」予防接種を新たに実施する。

また、骨髄移植等により、定期接種として接種したワクチンの免疫が失われた小児に対して、任意予防接種費用の助成を行う。

(2) **継続** **人と動物の共生社会推進事業** 7,400千円

動物愛護及び管理に関する法律の改正を受け、避妊手術補助の継続や啓発の強化等、動物の愛護及び適正飼育をより一層推進する。



(ワンちゃん譲渡会)



(ふれあい教室)

(3) **継続** **斎場大規模改修事業** 980,000千円
(他に債務負担680,000千円)

築35年以上を経過した東部斎場について、建物や空調設備、火葬設備等の老朽化に伴うトラブルを防止するため、計画的に大規模改修を進める。

(4) **継続** **市立病院機構運営費負担金** 3,293,327千円

地方独立行政法人北九州市立病院機構に対して、医療センター内の総合周産期母子医療センターや八幡病院内の小児救急・小児総合医療センターの運営等、市民の安全で安心した暮らしを支えるために必要な経費を負担する。

令和2年度国民健康保険特別会計予算(案)

1 被保険者数の現状

被保険者数	令和2年度予算	令和元年度予算	平成30年度予算
一般	194,605人 ▲2.8%	200,244人 ▲3.9%	208,330人 ▲7.4%
退職	0人 ▲100.0%	310人 ▲70.0%	1,032人 ▲65.6%

※下段は対前年度伸び率

2 令和2年度予算(案)の概要

医療の高度化や高齢化の影響などにより1人当たりの保険給付費は増加する見込みである。また県の納付金算定において、負担緩和措置が見直されることとなり、本市の納付金は増額となった。

被保険者数の減少は続いているものの、それを上回る保険給付費と納付金の増により、予算総額は前年度よりも増加となる。

予算総額は1,013億円で前年度より15億円増加し、繰入金は106億円で前年度とほぼ同額である。

(1) 予算総額 (単位:千円)

項目	R2予算(A)	R1予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
歳入・歳出総額	101,326,000	99,786,000	+1,540,000	+1.5%

(2) 主な歳入 (単位:千円)

項目	R2予算(A)	R1予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
保険料	15,571,288	15,330,758	+240,530	+1.6%
国・県支出金	73,459,337	72,349,794	+1,109,543	+1.5%
一般会計繰入金	10,583,000	10,624,000	▲41,000	▲0.4%

(3) 主な歳出 (単位:千円)

項目	R2予算(A)	R1予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
保険給付費	72,290,347	71,884,741	+405,606	+0.6%
国保事業費納付金	26,323,198	25,109,301	+1,213,897	+4.8%

(4) 1人当たり保険料 (単位:円)

項目	R2予算(A)	R1予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
医療分	53,452	53,452	±0	±0%
後期高齢者支援金分	20,692	19,054	+1,638	+8.6%
介護納付金分※	23,603	20,247	+3,356	+16.6%

※40～64歳に限る

3 令和2年度制度改正

保険料軽減の拡充(5割軽減・2割軽減世帯)

保険料賦課限度額の引上げ(医療分・介護分)

令和2年度介護保険特別会計予算(案)

◆予算総額について

(単位:千円)

		令和2年度予算	令和元年度予算	増減(R2-R1)
予算総額		106,316,000	100,497,000	5,819,000
主な 歳入 内訳	一般会計繰入金	16,796,135	14,935,391	1,860,744
	介護保険料	17,689,155	18,375,136	▲685,981
	国県等支出金	68,344,640	64,524,922	3,819,718
主な 歳出 内訳	保険給付費	98,068,343	92,306,171	5,762,172
	地域支援事業費	5,448,032	5,324,052	123,980

※歳入、歳出内訳は、抜粋した金額であり、予算総額とは一致しない。

◇令和2年度介護保険特別会計は、平成29年度に作成した第7期計画(H30~R2年度)における給付費及び特定処遇改善加算の創設による給付費等を計上したことによる増により、前年度から約58億2千万円の増額となっている。

◇給付費の増や消費税増税に伴う低所得者保険料軽減の拡充等により、市からの一般会計の繰入金は前年度から18億6千万円の増額となっている。

消費税引き上げに伴う介護保険料の軽減強化について

◇平成27年4月から消費税による公費を投入して、所得の低い階層(第1段階:生活保護受給者等)の介護保険料の軽減を一部実施している(介護保険法施行令第39条第5項)。

◇令和元年10月の消費税率引き上げに合わせて、国が所得の低い階層(第1段階~第3段階:市民税非課税世帯)に対する介護保険料の軽減強化の方針を示したため、平成31年4月から本市も介護保険料の軽減強化を行っている(介護保険法施行令第39条第5項~7項)。

◇令和2年度についても、完全実施に伴うさらなる軽減強化を行う。

◇財源の負担割合は、国が1/2、県が1/4、市が1/4となっている。

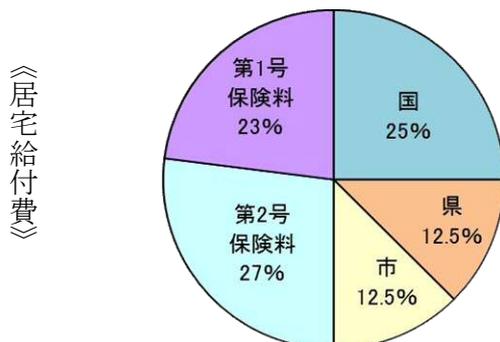
◇令和元年度の低所得者の介護保険料軽減に関する予算規模は1,695,910千円。

年間介護保険料比較

	平成31年度	令和2年度
第1段階	27,400円	21,920円
第2段階	42,020円	32,880円
第3段階	52,980円	51,150円

※法律により介護保険料の賦課期日が4月1日と定められているため、年度の表記を平成31年度と記載

<参考> 介護保険給付費の費用負担割合



令和2年度後期高齢者医療制度に係る予算(案)

1 後期高齢者医療の現状

	令和2年度予算	令和元年度予算	平成30年度予算
被保険者数(本市分)	150,966人 0.4%	150,310人 2.2%	147,085人 1.9%
一人当たり医療給付費(福岡県)	1,095,756円 0.04%	1,095,333円 0.9%	1,085,076円 ▲2.9%

※下段は対前年度伸び率

高齢化の進展に伴い、被保険者数は増加傾向にある。また、令和2年度の一人当たりの医療給付費については、医療の高度化等により増加すると見込まれている。

2 後期高齢者医療に係る予算

(1) 特別会計

後期高齢者医療は、県内市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が財政運営を行っており、保険料も広域連合が決定する。

① 予算総額

166億5,600万円(対前年度比3,400万円の減)

主な減少項目は、保険料負担金(7千万円減)、保険基盤安定負担金(1千万円減)。

② 保険料

保険料の改定は2年に1度であり、令和2年度は改定の年となっている。保険料の軽減特例の見直しの影響で、一人当たり保険料額は、増加している。

一人当たり 保険料 (年額)	R2・3年度	H30・R元年度※	増減
	82,509円	79,083円	3,426円

※広域連合によるH30年度決算・R元年度決算見込みによる試算

③ 一般会計繰入金

低所得者等の保険料を軽減するための「保険基盤安定負担金」が0.1億円減少し、「事務費繰入金」が0.5億円増加となる。

	R2年度	R元年度	増減
保険基盤安定繰入金	34.7億円	34.8億円	▲0.1億円
事務費繰入金	8.2億円	7.7億円	0.5億円

(2) 一般会計

後期高齢者の医療給付費については、市町村が12分の1を負担することとなっている。

被保険者の増加による医療給付費の伸びにより、対前年度0.2億円の増加となる。

後期高齢者医療義務	R2年度	R元年度	増減
	138.5億円	138.3億円	0.2億円

3 令和2年度制度改正について

- 保険料軽減特例の見直し(均等割の軽減8.5割→7.75割、8割→7割)
- 保険料賦課限度額の引き上げ(62万円→64万円)

掲載事業 担当課一覧

事業名	担当課	電話番号
1 地域福祉・高齢者福祉の推進		
(1) 介護ロボット等開発・導入実証事業	先進的介護システム推進室	093-582-2712
(2) 拡 北九州市成年後見制度中核機関運営事業	長寿社会対策課	093-582-2407
(3) 拡 新しい介護予防・健康づくり事業	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
(4) 新 外国人介護人材育成支援事業	介護保険課	093-582-2771
2 障害福祉の推進		
(1) 発達障害児早期支援システム研究事業	精神保健福祉課	093-582-2439
(2) 新 医療的ケア児在宅レスパイト事業	障害者支援課	093-582-2424
(3) 新 地域生活支援拠点等整備事業	障害者支援課	093-582-2424
(4) 拡 障害児者日常生活用具給付等事業	障害者支援課	093-582-2424
(5) 拡 ひきこもり地域支援センター事業	精神保健福祉課	093-582-2439
3 健康の維持・向上と地域医療の充実		
(1) 健康（幸）寿命プラス2歳の推進関連予算	健康推進課	093-582-2018
（ 拡 健康（幸）寿命プラス2歳の推進	健康推進課	093-582-2018
（ 新 「高血圧ゼロのまち」モデルタウン事業	健康推進課	093-582-2018
（ 新 歯周病検診受診促進モデル事業	健康推進課	093-582-2018
(2) 新 後期高齢者のデータヘルスの推進	健康推進課	093-582-2018
(3) 新 とびうめ@きたきゅう普及啓発事業【介護保険特会】	地域医療課	093-582-2678
(4) 新 若年者の在宅ターミナルケア支援事業	健康推進課	093-522-8763
4 保健・衛生管理体制の充実		
(1) 拡 定期予防接種事業	保健衛生課	093-582-2435
(2) 人と動物の共生社会推進事業	動物愛護センター	093-581-1800
(3) 斎場大規模改修事業	保健衛生課	093-582-2435
(4) 市立病院機構運営費負担金	地域医療課	093-582-2678

特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計	保険年金課	093-582-2415
介護保険特別会計	介護保険課	093-582-2771
後期高齢者医療特別会計	保険年金課	093-582-2415
食肉センター特別会計	食肉センター	093-521-0172
市立病院機構病院事業債管理特別会計	地域医療課	093-582-2678
病院事業会計	地域医療課	093-582-2678